令和7年6月25日

古賀市議会
議長 渡 孝二 様

補正予算審査特別委員会
委員長 福 崎 トビオ

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件について6月18日に委員会を開催し、その審査結果を会議規則第110条の規定により報告します。

記

補正予算審査特別委員会に付託を受けておりました、第36号議案「令和7年度古賀市一般会計補正予算（第2号）について」及び第37号議案「令和7年度古賀市水道事業会計補正予算（第1号）について」の2議案について、審査の経過と結果の報告をいたします。

審査に際し、副市長をはじめ関係部課長等の出席を求め、各委員からの資料要求に基づく資料を参考に審査をいたしました。審査の経過につきましては、議長を除く議員全員での特別委員会であり、内容等を含め御承知のとおりでありますことから、詳細は省略し、概要のみの報告とさせていただきます。

第36号議案「令和7年度古賀市一般会計補正予算（第2号）について」では、学校給食費に質疑が集中し、物価高騰分については当初予算に組み込まれており、本補正では9月からの給食材料費を計上。給食費の徴収管理システムの導入については、12月頃に各保護者へ口座変更の周知予定。引き落とし銀行等の増加など、選択肢を広げることで利便性の向上を図る。との答弁があり、討論では、給食費管理の透明性、業務の効率化、保護者の利便性向上を評価。また、歳入の学校給食費と歳出の賄材料費の関係が明確となり、計上は適正であると判断。との賛成討論があり、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第37号議案「令和7年度古賀市水道事業会計補正予算（第1号）について」では、受水費の増額や浄水場廃止についての質疑があり、受水については、北九州市との協定締結後に増量を検討。令和8年度までに古賀市と北九州市をつなぐ管の増口径を予定しており、終わり次第、浄水場廃止の予定であるが、売却や解体、あるいは利活用により現存させるなど、まだ方向性が決まっておらず、令和7・8年度で検討。との答弁があり、討論では、古賀市議会としても水源転換、浄水場廃止を提言してきた経過があり責任を持つ案件。受水費については現状単価での契約を評価。今後も現状維持で頑張ってくださいよう期待。との賛成討論があり、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。